

後期基本計画 令和 2年度 施策方針書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 02 ICT関連企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 02 ICT/IoT利活用と人材育成の推進

施策担当職・氏名	企業振興課総括主査 宮田 聖子
-----------------	-----------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	ICT関連産業の集積を目指す本市として、産業集積の中核となるイノベーションセンター、同パークを中心に岩手県立大学との連携、産学官連携を推進し、市内企業に質の高い技術の蓄積と次代を担う若者の人材育成と定着支援を行うため、市内企業及び社会人の人材育成を実施し、ICT/IoT利活用の推進による企業の生産性向上を支援することにより、企業の高度化や起業を支援し、市の特色を活かした人材を育成します。
--	---

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし セミナー、フォーラム等の交流事業の回数 単位 回	78	88	100	112	124	124	- 0.0
	単位							
	単位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成30年度	令和元年度 (見込)	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	4 年 後
1	7508 産学官共同研究事業 共同研究数 単位 件	目標値 実績	2 2	2 0	2 -	2 -	2 -	2 -	2 -
2	12101 地域ICT活用事業 ICT活用に関するセミナー実績 単位 件	目標値 実績	8 2,392	10 0	12 -	14 -	16 -	18 -	18 -
	単位	目標値 実績							
	単位	目標値 実績							
	単位	目標値 実績							

後期基本計画 令和 2年度 施策方針書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 02 ICT関連企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 02 ICT/IoT利活用と人材育成の推進

施策担当職・氏名 企業振興課総括主査 宮田 聖子

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

滝沢市の特色であるICT産業の集積と大学の立地を最大限に生かし、大学との連携を促すため、企業と大学とのマッチングを実施するとともに、集積企業と市内企業の企業間の連携を推進しています。継続実施している産学官連携事業や研究機関と市内企業の共同研究を支援しています。また、企業の課題解決や異業種連携などを促進するため、イノベーションフォーラムや地域人材育成セミナーをはじめとするフォーラムやセミナーも開催しております。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

経済のグローバル化、日本市場の縮小により日本企業の海外への設備投資が続き、経済回復の兆しが見える中にあっても国内における製造関係の拠点化の動きは継続的に鈍い状況となっております。このような中、従来型の誘致の方法を見直し、地方から日本の産業を創造する取り組みが必要となっており、日本の各地において、地域の資源を最大限に活用した付加価値の高い産業創出の取り組みが行われております。また、日本企業の海外への設備投資が続く一方で、日本拠点の付加価値化の動きもあり、これらを見通した付加価値ある地域を創造することが重要となっております。更には、人材不足が課題となっている中で、地方の人材を目的とした企業の地方への動きもあり、様々な角度から人材育成を行っていく必要があります。

(3) 基本施策との関連性

基本施策である「ICT関連産業の集積と産学官連携の推進」において、本施策は市の特色であるICT関連産業の集積を担う人材の育成を行うものであり、産学官、企業間などの連携を強力に推進するとともに、連携から生まれる新たなビジネスなどの付加価値創出が必要となっております。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

社会環境の変化に記載のとおり、地域経済の活性化と雇用創出は地域の資源を最大限に活用した付加価値の高い産業創出の取り組みが重要となっております。そのような中、滝沢市には岩手県立大学が立地しており、先進的な研究成果と高度人材という強みがあり、これらを最大限に生かした取り組みを進めるとともに、滝沢市の規模と環境を生かした実証実験などを進め、新たな付加価値を作り上げていきます。また、これまで築いた企業や関係機関とのネットワークを更に充実させるとともに、更なる連携を図るためセミナーやフォーラムを率先して開催します。更には、他地域との連携を進めることで滝沢市の付加価値を高めていきます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題

今まで継続してきた産学官連携、企業間連携、異業種連携のきっかけとなるフォーラムやセミナー等を更に充実し、滝沢発の開発が進むよう企業、大学等とのコーディネート充実していきます。また、企業情報や新たな技術の情報の収集などにアンテナを高め、他の地域や関係機関等とのネットワークの構築を図ります。更には、地域の活性化の根源である人材育成について強化します。

(3) 基本計画内方針及び令和 2年度重点課題に基づく優先順位の考え方

産学官連携、企業間連携、異業種連携は滝沢発の開発を目指すもので、そこから生まれる地域経済の活性化と雇用創出を目指すものです。その根幹となる連携促進をしっかりとするために、集積企業との連携、開発の中心施設として定着させ、人の交流を促進します。また、それらの根源となる人材の育成も優先し進めます。

